

クイズに挑戦し合川路歩く 合川まちなかウォークラリー

2017市民ウォークの一環として「合川まちなかウォークラリー」が、9月20日に合川地区で行われ、市民約70人が参加して心地よい汗を流しました。

今回は、市役所合川庁舎をスタート・ゴールとする4キロ、6キロコースが設けられ、参加者たちは道路脇の花や収穫前の黄金色に染まる田んぼを眺めながら歩みを進めました。コースの途中にある5か所の閑門では、市有形文化財の「鎌沢の大仏」など合川地区の歴史に関するクイズに挑戦しながら、思い思いのペースでウォーキングを楽しみました。



ふるさとの話で旧交を温める 第31回東京ふるさと森吉会総会

第31回東京ふるさと森吉会(松岡啓司会長)の総会が、9月18日にアルカディア市ヶ谷(東京都)で行われ、会員など約150人が出席し、再会を喜ぶとともにふるさとの話題で旧交を温めました。

交流会では、参加者が各テーブルを回り、旧友や知人との懐かしい話やふるさと談議に花を咲かせ、北秋田市の特産品が当たる大抽選会やカラオケ大会などで大いに盛り上りました。最後は全員で「浜辺の歌」を大合唱し、生まれ育った地に思いを馳せるとともに、来年の再会を誓いました。



思いやりの気持ちを大切に フェアプレイスクール

日本体育協会主催の「フェアプレイスクール」が、9月21日に綾子小学校(伊藤晃校長)で行われ、講師で元バレーボール女子日本代表の杉山祥子さんが自身の経験からフェアプレイの大切さを伝えました。

杉山さんは日本代表に選出されたものの、試合に出られず控えに回った時期を振り返り、児童たちに「これから様々な経験をする中、思いやりや感謝の気持ちを大切にしてほしい」と呼び掛けました。

このあと、杉山さんがバレーボールの基本を指導し、児童たちは楽しんで体を動かしていました。



内陸線利用しサッカー交流 第18回あきた南北ジュニア強化サッカー交流大会

第18回あきた南北ジュニア強化サッカー交流大会(もみじカップ)が、10月1日に鷹巣陸上競技場で行われ、仙北市や大仙市などのサッカーチームが内陸線を利用して北秋田市を訪れ、県北のチームとサッカー交流を楽しみました。

今大会には、県南から5チーム、北秋田市や大館市など県北から7チームの合わせて12チームが参加。選手たちは、チームメイトと声をかけ合いながら、ゴールを目指してフィールドを駆け巡り、会場には保護者や観客からの大きな声援が響きわたりました。



市内のいろいろな出来事を紹介します

ちいさの話題



30回の節目に会歌を披露 第30回東京鷹巣会総会

第30回東京鷹巣会(熊谷幾麿会長)の総会・懇親会が、10月8日にホテルグランドパレス九段下(東京都)で行われ、会員や来賓など約230人が出席し、ふるさと談義などで親睦を深めました。

今回は、30回目の節目に、これまで会の運営に貢献された方々に感謝状が贈られたほか、30周年を記念して作られた会歌「東京鷹巣会会の歌」が披露されました。鏡割りで始まった懇親会では「きりたんぽ鍋」などの郷土料理に舌鼓を打ちながら、お互いの近況や思い出話に花を咲かせました。

